

1クール目<基礎力定着クール>

<物理化学>

回	科目	内容
1	物理化学	分子間力、熱力学
2	物理化学	相平衡(1成分、2成分)、反応速度(0次~2次、複合反応、反応経路)
3	物理化学	反応速度(瓶0次、瓶1次、アレニウス)、溶液の化学
4	物理化学	酸塩基、各種化学平衡
5	物理化学	束一性、総復習(オリジナルプリント・問題演習)

<分析化学・放射化学>

回	科目	内容
1	分析化学	電磁波、紫外可視吸光度測定法、蛍光光度法、赤外吸収スペクトル測定法
2	分析化学	核磁気共鳴法、質量分析法、試料前処理法
3	分析化学	クロマトグラフィー、電気泳動法
4	分析化学	X線回折法、旋光分析、画像診断法、免疫学的測定法
5	分析化学	確認試験、容量分析、金属元素の分析
6	放射化学	放射化学、電離放射線の生体影響、放射性医薬品

<化学>

回	科目	内容
1	有機化学	基本骨格、IUPAC命名法、電子配置・化学結合・混成軌道、分子軌道
2	有機化学	無機化学、共鳴・共役・互変異性、電子効果、酸性度・塩基性度、反応中間体
3	有機化学	芳香族化合物、有機化合物の立体構造
4	有機化学	ラジカル反応、アルケン・アルキン
5	有機化学	有機ハロゲン化合物、アルコール・フェノール・チオール、エーテル、アミン
6	有機化学	アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体、加溶媒分解反応、炭素-炭素結合生成反応
7	有機化学	有機化合物の合成、生体分子・医薬品の化学
8	生薬学	生薬、漢方
9	生薬学	生薬、漢方

<生物>

回	科目	内容
1	生物	糖質の構造と代謝(解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、グリコーゲンの合成分解、糖新生など)
2	生物	脂質の構造と代謝(脂肪酸の合成分解、コレステロール合成分解)、ケトン体生成、アミノ酸の構造と代謝(アミノ基転移反応、尿素回路)
3	生物	遺伝子の構造と性質、セントラルドグマ、核酸代謝
4	生物	タンパク質の構造と性質、ビタミン、細胞の構造と性質
5	生物	遺伝子工学、細胞分裂、微生物
6	生物	免疫反応、アレルギー、拒絶反応
7	生物	神経系、筋肉、循環器、リンパ液、神経による調節
8	生物	骨の構造と代謝、呼吸器系、消化器系、消化管ホルモン、泌尿器系、血液凝固と線溶、
9	生物	感覚器、(総復習)免疫学
10	生物	(総復習)栄養素の構造と代謝(シャトル、リポタンパク質含む)
11	生物	皮膚、(総復習)分子生物学

<衛生>

回	科目	内容
1	衛生	地球環境と生態系、生物濃縮、水環境(～下水処理、富栄養化)
2	衛生	環境保全と法的規制、水環境(水質汚濁指標)、大気環境、室内環境
3	衛生	化学物質の毒性(代謝・代謝的活性化)、化学物質の発がん、食品成分由来の発がん物質
4	衛生	化学物質の毒性(有害金属、農薬、有害有機物質、乱用薬物)、化審法
5	衛生	ミネラル、栄養素の消化・吸収、エネルギー代謝、食事摂取基準、食品の表示、食品添加物
6	衛生	食品添加物(続き)保健機能食品、食品衛生のための法規制、食物アレルギー、遺伝子組換え食品、疫学
7	衛生	食中毒と食品汚染、保健統計、生活習慣病とその予防(メタボリックシンドローム)
8	衛生	生活習慣病とその予防(続き)、健康と疾病の概念、疾病の予防、感染症、母子保健
9	衛生	労働衛生、化管法、POPs、非電離放射線、地球環境と生態系(窒素循環、地球環境問題)、廃棄物
10	衛生	水環境(2回目)
11	衛生	化学物質の代謝・代謝的活性化(2回目)、毒性試験、変異原性試験
12	衛生	タンパク質の栄養価、有機溶媒、プラスチック原料、工業製品、活性酸素、内分泌乱化学物質、家庭用品の規制、複合対策

<薬理>

回	科目	内容
1	薬理	情報伝達、自律神経系に作用する薬物
2	薬理	自律神経系に作用する薬物、体性神経系に作用する薬
3	薬理	体性神経系に作用する薬、呼吸器系に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物
4	薬理	中枢神経系に作用する薬物、循環器系に作用する薬物
5	薬理	循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物
6	薬理	ホルモンとその関連薬
7	薬理	代謝性疾患治療薬、骨粗しょう症治療薬
8	薬理	炎症・アレルギーと薬物、緑内障治療薬、血液系に作用する薬物
9	薬理	消化器系に作用する薬物、抗悪性腫瘍薬、免疫抑制薬、抗リウマチ薬
10	薬理	抗病原微生物薬、総論
11	薬理	自律神経系に作用する薬物
12	薬理	中枢神経系に作用する薬物
13	薬理	ホルモンとその関連薬
14	薬理	代謝性疾患治療薬

<薬物動態>

回	科目	内容
1	薬物動態学	体内動態の基礎・吸収、相互作用(吸収)
2	薬物動態学	分布、代謝、相互作用(分布代謝)
3	薬物動態学	排泄、相互作用(排泄)・ADME演習
4	薬物動態学	薬動学①(全身クリアランス・2-コンパートメントモデル・バイオアベイラビリティ)
5	薬物動態学	薬動学②(点滴静注・繰り返し投与・非線形・モーメント解析)
6	薬物動態学	薬動学③(TDM・肝固有クリアランス・パラメーター変動・PK/PD理論)
7	薬物動態学	薬動学計算演習

<物理薬剤>

回	科目	内容
1	物理薬剤	固形材料(粒子・粉体の性質)、安定化の方法、空隙率計算演習
2	物理薬剤	溶解速度、半固形・液状材料(レオロジー、高分子)、分散系材料(界面張力)
3	物理薬剤	分散系材料(界面活性剤、コロイド分散系、粗大分散系)
4	物理薬剤&製剤	問題演習(物理薬剤)、製剤化の方法(等張化計算)

<製剤>

回	科目	内容
1	製剤	日本薬局方製剤通則・総則、代表的な製剤
2	製剤	製剤化の方法(代表的な添加剤)、製剤化の方法(製剤機器)、製剤試験法
3	製剤	製剤試験法(残り)、DDS

<薬物治療>

回	科目	内容
1	病態・薬物治療	循環器系疾患
2	病態・薬物治療	血液系疾患(TTP除く)
3	病態・薬物治療	消化器系疾患(胆石症、膵炎除く)、泌尿生殖器系疾患(急性腎不全まで)
4	病態・薬物治療	泌尿生殖器系疾患(慢性腎臓病～)、呼吸器系疾患(気管支ぜん息)
5	病態・薬物治療	呼吸器系疾患(COPD～)、内分泌系疾患(慢性甲状腺炎まで)
6	病態・薬物治療	内分泌系疾患(クッシング症候群～)、代謝性疾患(糖尿病まで)
7	病態・薬物治療	代謝性疾患(脂質異常症～)、神経筋の疾患(～てんかん)
8	病態・薬物治療	神経筋の疾患(神経変性疾患～片頭痛)、精神疾患(統合失調症、躁うつ病)、骨関節疾患(骨粗しょう症まで)
9	病態・薬物治療	骨関節疾患(関節リウマチ～)、悪性腫瘍性疾患(～消化器系がん)
10	病態・薬物治療	悪性腫瘍性疾患(乳がん～)、生物統計(仮説検定、検定手法、)
11	病態・薬物治療	循環器系疾患、呼吸器系疾患(一部抜粋)
12	病態・薬物治療	血液系疾患、消化器系疾患(炎症性腸疾患除く)
13	病態・薬物治療	泌尿生殖器系疾患、神経筋疾患(一部抜粋)
14	病態・薬物治療	内分泌系疾患、悪性腫瘍性疾患(一部抜粋)

<法規>

回	科目	内容
1	法規・制度・倫理	薬剤師の使命、薬剤師に求められる倫理観、信頼関係の構築、薬剤師に関わる法令とその構成、薬剤師法、医師法、医療法、個人情報取扱、刑事責任、民事責任、製造物責任
2	法規・制度・倫理	医薬品医療機器等法(目的、医薬品等の定義、薬局、製造販売業、製造業、製造販売承認、再審査・再評価、RMP、副作用等報告)
3	法規・制度・倫理	医薬品医療機器等法(医薬品販売業、医療機器販売業、毒薬劇薬、処方箋医薬品、容器の表示、生物由来製品)、血液供給体制、医薬品開発
4	法規・制度・倫理	管理薬に関する法規制(麻薬及び向精神薬取締法、覚醒剤取締法)、毒物及び劇物に関する規制
5	法規・制度・倫理	社会保険制度(介護保険、高齢者医療制度、医療保険)
6	法規・制度・倫理	薬害、健康被害救済制度、社会保険制度(調剤報酬、薬価)、薬剤経済・医療統計、地域における薬局と薬剤師

<実務>

回	科目	内容
1	実務	臨床薬学の基礎、調剤(処方箋の取り扱い、疑義照会)、医薬品の供給と管理、チーム医療
2	実務	調剤(用法・用量、禁忌、相互作用など)
3	実務	調剤(調剤計算)、安全管理(消毒薬)、処方設計と薬物治療(注射剤・輸液の取り扱い)
4	実務	患者対応と服薬指導(副作用と初期症状)、安全管理(院内感染)、患者情報、医薬品情報
5	実務	地域の保健・医療・福祉、総合演習
6	実務	総合演習